

## 計算書類に対する注記

### 1 重要な会計方針

- (1) 固定資産の減価償却について  
固定資産の減価償却法は、定率法を採用している。
- (2) 長期前払費用(礼金)について  
均等償却を行っております。
- (3) 資金の範囲について  
資金の範囲には、現金・預金、未収金、未収還付消費税、前払金、未払金、前受金、預り金、及び未払法人税等・未払消費税等を含めている。  
なお、当期末残高は、下記2に記載するとおりである。
- (4) 消費税等の会計処理  
税込方式によっている。

### 2 次期繰越収支差額の内容は、次のとおりである。

科 目	前期末残高	当期末残高
現金預金	21,342,422	5,805,481
未収金	659,984	200,251
未収還付消費税	0	490,100
前払金	0	10,000
合 計	22,002,406	6,505,832
未払金	15,143,042	1,624,322
前受金	10,000	5,000
預り金	102,663	40,823
未払法人税等	130,000	91,000
未払消費税等	616,900	0
合 計	16,002,605	1,761,145
次期繰越収支差額	5,999,801	4,744,687

### 3 固定資産の取得価格、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

科 目	取得価格	減価償却累計額	当期末残高
什器備品	600,222	571,409	28,813
合 計	600,222	571,409	28,813